

21. 子宮がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
				開腹手術	腹腔鏡下手術(腔式)		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野
1	産婦人科	9	4	状況 ○	○	○	○	×	×	手術については、患者さんの負担を少なくするよう工夫をしています。 また自己貯血、術後疼痛緩和のための硬膜外麻酔、傷の小さい内視鏡手術、腔式手術、術後血栓予防対策など、セカンドオピニオンの求めにも応じています。	ア http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/sanfujiin/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績 あり	あり	あり	あり	なし	なし		イ http://			
2	放射線治療科	2	2	状況				○	×	婦人科と連携し、3次元放射線治療を行っています。ただし、腔内照射は近隣の病院に依頼しています。	ア http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha-t/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績				あり	なし		イ http://			
3				状況							ア http://			
				実績							イ http://			
4				状況							ア http://			
				実績							イ http://			
5				状況							ア http://			
				実績							イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:子宮頸がん、子宮体がん 子宮頸がん、子宮体がん、子宮肉腫
------------------------------------	-----------------------------------